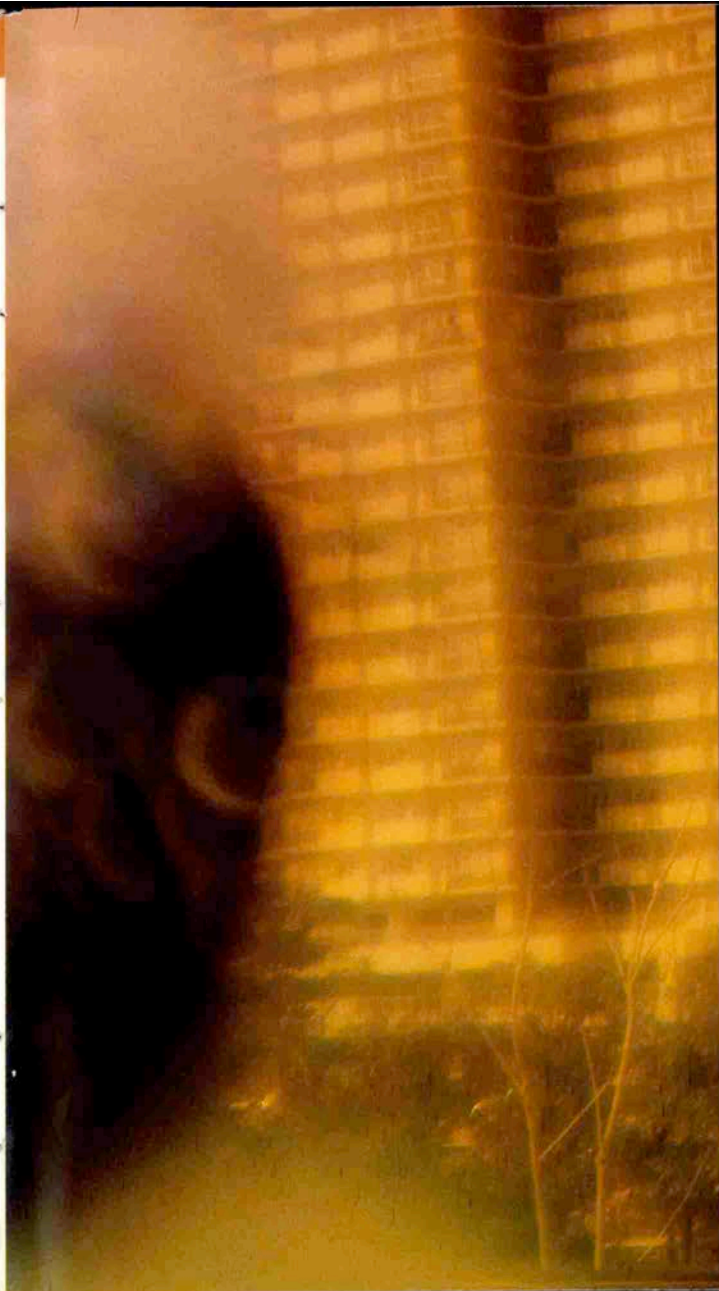
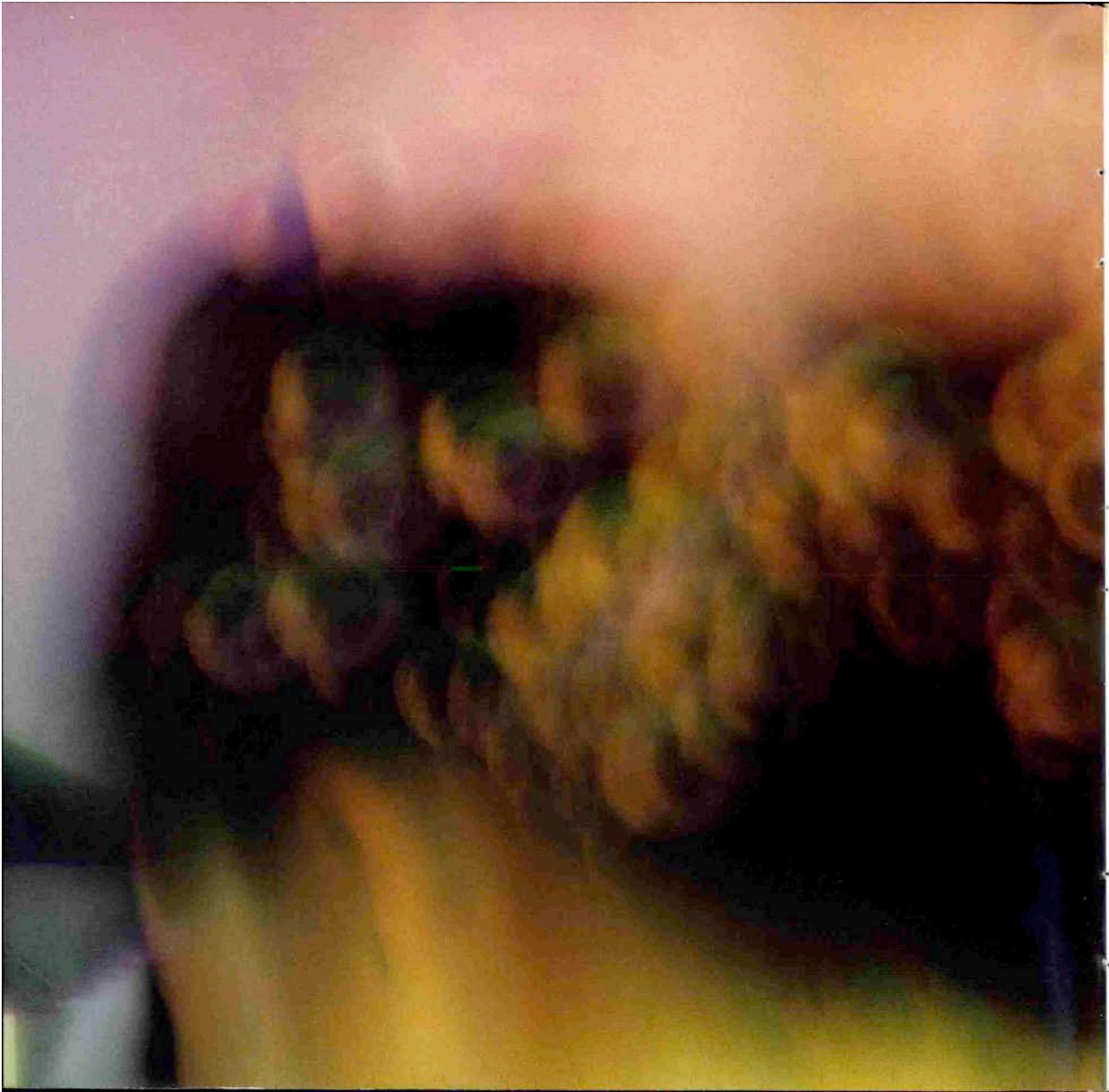


KOBE MONOGATARI

# 神戸の物語

緒方しげを NO・16







どうしたのでしょうか。春の夜に  
鹿鳴館のざわめきが伝って来ます…。

●木下真珠では、カジュアルからフォーマルまで、この春の  
装いのための各種真珠・ジュエリーを取り揃えています。



WORKSHEP & EXPORTER of Cultured Pearls  
KINOSHITA  
PEARL  
CO., LTD.

*Order Salon*

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)

TEL (078)221-3170

10:00AM~6:00PM (無休)

ときめき 4月  
真珠の輝き



真珠・貴金属・毛皮・輸入婦人服

 **ムラ**

さんちかシティエLEGانس／神戸市中央区三宮町1丁目10番1号 ☎(078)391-3886

本社／神戸市中央区元町通6丁目7番8号明邦ビル ☎(078)341-8041代

甲子園店／甲子園球場南・阪神パーク隣 ☎(0798)48-5218



# 若いほど、 テイスティにね。

シフヤにもない、ウメダにもない。ビギ  
の新スベース、ビギスタイルコレクション  
ンが誕生です。フティックというお決  
まりの枠を外して、流行の先端をきつて  
いるファッションが広い、広い売場に並  
び、これは日本ではじめてのころみ。



DAIMARU KOBE

電話 (078) 331-8121



# 新しいのに、懐かしい。

中には、ピンクハウスとカールヘルムが寄りそう金子功の世界をはじめ、セツトアップ、D・グレース、モガ、メンズメルローズなど14のブランドが素晴らしい宇宙で輝いています。もうひとつの話題は、ビギグループがプロデュースしたティールーム、ラ・ボム・ベール。彼といっしょに、さあ、若いハート感じてください。

■2階ビギスタイルコレクション



海に見える白いチャペルでウェディング。

御結婚披露宴・

各種パーティー

好評予約受付中



海を見ながら、神戸ならではのファッショナブルなブライダルは、恋人たちの夢。  
白亜のチャペルに続くホールでのご披露宴や、劇場を利用した世界で初めての  
シアターウェディングなど、感動的シーンの演出を心がけています。  
カリヨンの音色に祝福されて、慶びもいよいよクライマックスに――。

ゴーフル ポートピア88

神戸 且月堂 港島

〒650 神戸市中央区港島中町7-2-2 ☎(078)302-5555

本社/〒650 神戸市中央区元町通3丁目3番10号 ☎(078)321-5555

ゴーフル ポートピア88  
ポートライナー中埠頭駅前  
(ゴーフル白いチャペル前)







ビデオアート / 山口勝弘

これは神戸を愛する人々の雑誌です  
あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の心の手帖です

4月号目次 ● 1987・No. 312

表紙 / 小磯良平

セカンドカバ / 中西勝

9 神戸っ子 / 天藤久雄・吉岡美恵子

12 9 ある集い / ①ザ・ファッショングループ ②K・F・C

15 12 コウベスナップ / インポートフェア・大丸神戸店新装オープン

18 16 美の小箱 / ④河崎晃一 / 文・乾由明

29 18 神戸の物語 / カメラ・緒方しげを

31 29 わたしの意見 / 鳥居幸雄

34 31 随想 / 山西史子・田中実和・細川勝

36 34 連戦エッセイ / 三枝和子・カット / 元永定正

48 38 36 こうべ味な旅 / 岡部伊都子・カット / 石阪春生

47 38 Kobe音楽夜話 / 宝塚とシャンソン・中元清純

46 38 座談会 / 神戸七福神 / でハッピーライフ

45 38 吉田智朗・小池義人・津田信基・井上仁性・加藤隆久・

44 38 伊藤浄敏・永岡大純・中西勝

43 48 地域文化論 / 武田則明

42 48 (特集) トリクタウン / ①メリケンパーク ②元町大丸前 ③三

41 48 宮 ④ポートアイランド ⑤北野町

40 59 経済ボケットジャーナル

39 60 キャンペーン座談会 / (今、神戸ファッションの原点を見

38 70 直す / 川上勉・木口衛・細川敦夫・小田俱義・荒津正美

37 70 宝塚対談 / 春日野八千代・平みち・杜けやき

36 70 珈琲飲みながら / アキコ・カンダ・但馬久美

35 76 話題のひろば / ①ホテルオークラ神戸起工式 ②街造りシン

34 76 posium ③笑いの一粒を日本一に ④オールスタイル

33 76 KOBEファッションスポット

32 76 ファッションウオッチング / (I) 神戸と帽子・平田和子 (II)

31 76 コーヒーブレイク

30 76 動物園飼育日記 (25) / 亀井一成

29 76 小山乃里子の華麗なる男のインタビュー / 植松奎二

28 76 神戸の集いから

27 76 プロフェッサーPの研究室 / 岡田淳

26 76 スポーツエッセイ / 小笠原博

25 76 ルックスポート

24 76 湊川通信

23 76 出会いの旅 / 丹波の美酒 但馬のカニ・村上和子

22 76 神戸を福祉の町に / 橋本明

21 76 KOBE MODERN CULTURE

20 76 シネマ試写室 / 淀川長治

19 76 神戸百店会だより

18 76 ぴつといん

17 76 ボケットジャーナル

16 76 神戸・発見 ④ポートピアランド / 森下悦伸

15 76 連載小説 / 矢口耕一・カット / 谷口和市

14 76 KFS ニュース

13 76 兵庫県立近代美術館 / 芸術の都バルセロナ展

12 76 KOBEハイカラ文化史 ② / 鈴木正幸・鈴木正幸

11 76 海・船・港 / カリフォルニア州立商船大学練習船初入港

10 76 カメラ / 米田定蔵・池田年夫・松原卓也・坂上正治



第6回

# KOBE CLASSICS MOVIE FESTIVAL

PART II

甦るあの感動、あの楽しさ



4/25(土)~5/8(金) アカデミー賞 8 部門受賞  
マイフェアレディ 10:00 1:00 4:00 7:00  
5/9(土)~5/22(金) ジュディー・ガーランド主演  
オズの魔法使い 11:25 1:20 3:15 5:10 7:05  
5/23(土)~5/29(金) ヴィンセント・ミネリ監督  
巴里のアメリカ人 10:45 12:50 2:55 5:00 7:05

特別鑑賞券発売中

一般1,200円 学生1,100円

3番組通しの回数券3,000円

(当日一般1,500円 学生1,300円)



## 神戸新アサヒ劇場

三宮、中央区役所北側

078-251-9877

# TALES OF JAPAN THE NEW YORK PUBLIC LIBRARY COLLECTION

物語絵

4月11日(土)~5月24日(日)  
10時~17時(入館は16時半まで) 月曜・% 休館  
入館料 一般600円(当日700円) 月曜・% 休館  
(500円) 小中生200円(当日300円) 高大生400円  
●主催 神戸市立博物館・朝日新聞社  
●後援 アメリカ大使館

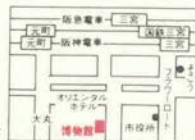


## 神戸市立博物館

神戸市中央区京町24番地

☎ (078) 391-0035

■国鉄「三ノ宮」元町から南へ徒歩約10分  
■阪急「三宮」阪神「三宮・元町」から南へ徒歩約10分



感性のステージ  
ファッションパーク。

新宿・高野  
BONFUKAYA  
ケルラン  
ココ山岡  
VICKY  
LEE SOPHY  
ELLE  
アベニュー22  
ブライダルサロンソレーブル  
ダイアナ  
サイズショップ・ダイアナ  
OFU  
CLAUDE LEMA  
ZAZIE  
三愛

# FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ センタープラザ3F

営業時間 am11:00~pm8:00  
PHONE 078(332)698



# 都会に合う男のジャケット



JACKET 麻100% ¥42,000  
PANTS 麻100% ¥16,000  
SHIRT ¥6,800



JACKET 綿+麻 ¥33,000  
SHIRT ¥6,500



**MAC**  
SINCE 1895 KOBE

本部/中央区三宮町1丁目6-22(ニューセンター7F) (078) 392-1651

三宮本店/三宮センター街 (078) 391-0895  
プレザージュ/トアロード (078) 391-0896  
ドルチェマック/三宮センター街 (078) 332-0141

京都店/藤井大丸2F (075) 211-0857  
姫路店/FESTA 2,3F (0792) 89-4738  
宝塚店/宝塚南口サンビオラ3F (0797) 71-4830

☆私の意見

# 世界一の 展示内容を持つ

## 海洋博物館

鳥居 幸雄

〈神戸海洋博物館館長〉



神戸港は開港一二〇年を迎えます。と申しますと神戸港の歴史そのものが一二〇年かと思われる方が多いと思います。実は一五〇〇年も前から栄えた港で、武庫水門・大輪田泊・兵庫津と名は変わりましたが、日本の港では最も古く名門中の名門であります。徳川三〇〇年の鎖国があったため、欧米の港に比べて対外開港が遅れて開港一二〇年となった訳です。

さて大阪には、豊臣ファンの文化人を中心に、徳川をのしる会というのがあって、鎖国したことを始め徳川の思い切り悪口を言う一日があると聞いています。どうも私の姓も鳥居ですから先祖が多分徳川の足軽ぐらいだったでしょう。何となく非難されるグループに入っているような被害者意識をもっています。鎖国がなければ、神戸港はもっと栄えていたのになんて思っている市民もおられるでしょう。しかしご安心下さい。遅れを取りもどす神戸っ子の反発力で、この一二〇年間に港は世界最大のコンテナ港になりました。さらに、六甲アイランド・ポートアイランド第二期と施設が増えて発展し続けていきます。

また、メリケン波止場にはメリケンパークが完成し、立派な海洋博物館が四月末にオープンします。展示内容は世界一だと自負しております。少しご紹介しますと遣隋、遣唐使の時代から現代までの歴史コーナー、世界の港の紹介、諸外国の民族船、港の荷役、造船コーナー、未来の船等の展示があります。そして展示物の殆んどが動き、話しかけてきます。またホールには真珠、宝石でちりばめたパールシップKOBEBEが大勢の人目をひくでしょう。

メリケンパークは神戸港を一望に見て、日本で初めて神戸に上陸した映画の碑（メリケンステージ）もあり神戸市民だけでなく日本中から楽しむための客が訪れることでしょう。さらに近き将来神戸沖に空港も実現する計画になっております。

どうか皆さん神戸港に拍手を贈ってください。





拜啓カーデガン美人殿

春はカーデガンの季節です。実用的な、春の防寒着という感じではなく、もっと積極的にカーデガンのおしゃれをお楽しみください。おもいっきり明るい色、カシミアなど軽くて暖かい素材、オーソドックスなデザインのことをシンプルなシャツやブラウスに組合せるのがイキです。着た後はハンガーにかけるのはもちろん、たまには、夜、お風呂場にしばらく吊してウールを元気づけてやりましょう。よこれらもちろん早めにクリーニング。おしゃれと清潔はきりはなせません。



本社/神戸市灘区紀田町1丁目2-16  
078-851-2440

■大坂支店/06-853-1332 ■つかしん店/06-420-3754 ■ローブ・ニシジマ/078-332-2440  
■山手店/078-221-2440 ■宝塚店/0797-72-0810 ■リフォーム・フルフル/078-221-9110

# Elegant Summer Wedding



7・1wed. ~ 8・31mon.

夏の特典、いっぱい

厳やかに、華やかに、  
住き日の祝典を洗練されたサービスで。  
オリエンタルホテルのサマーウェディングは、  
この夏結ばれるおふたりに、  
謝恩をこめたプランでご案内いたします。



オリエンタルホテル

神戸市中央区京町25 ☎(078) 331-8111

# 随 想



絵／細川勝「帰郷」

四月、

そして「こうべ」

山西 史子

△随筆こうべ同人▽



「こうべ」は幼いころから憧れの街だった。青い海、行き交う船、白い異人館、そんなイメージの中にはいつも美しい女の人があった。

昭和二十年代、尼崎に住んでいた。その辺りの女達はたいてい洗いだらしの服を着て、黒い髪を引っ詰めていた。小学何年生のときだったか四月、転校生があった。満

開の桜の下で、その子の母親を見た。緩くウエーブした栗色の髪は肩の辺りで揺れ、西洋人形みたいにロマンチックな服装をしていた。美しいと、心底思った。「ミス神戸」だったと聞いたのが、「こうべ」への憧れの最初だった。

夫の母に初めて会ったのも四月だった。美しい人だった。顔立ちだけでなく、おしゃれでセンスがよかった。神戸育ちで「神戸っ子」を自認し、誇りにしていた。「こうべ」はやっぱり、美しい女の街なのだと思った。

姑は働き者でしっかり者、好奇心満々の新しいものの好き、遊び上手でチャーミン

グ。生き生きと魅力的で、田辺聖子さんがエッセーで語る神戸の女、そのものだった。私の胸の中で、「こうべ」への憧れはますます増殖していった。尼崎に住む姑は、いつかは神戸へ帰りたいと口癖に言っていた。

五年前の四月、須磨に越して来た。夫の生まれ故郷である。泉南から明石海峡まで、目の下に広がる海の光景に、とうとう「こうべ」の住人になるのだと涙が出るほど感動した。

難病で身動きも不自由になっていた姑が、長兄に抱かれてやって来た。

「神戸はほんとに、ほんとにいい街よ」

姑は涙を流し、自分のことのように喜んでくれた。離宮公園の桜が満開の日だった。

翌年の正月に医師から、姑の死期が近いことを告げられた。臓器のほとんどが機能を失っていた。酸素テントの中であえぎながら、「寒いと葬式に来てくれたの人に迷惑がかかる。四月まで頑張って生きようから」と言い続けた。



花たちが咲き始めた四月、姑は眠るように静かに逝った。花を愛し、どんなときにも身の回りから花を絶やすこととかなかったひとを、とりどりの花に埋めて送った。神戸に眠りたいとの遺言通り、須磨寺に分骨した。

六度目の、神戸の四月を迎える。耳障りでたまらなかった神戸の言葉が、最近には気にならない。こうべの女に近づいたとはくそえんでいる。が姑は天国で笑っていることだろう。「住人どうだけやったら神戸の女よ。いい女にならんと「こうべ」の女とは言えへんよ」

神戸・

春夏秋冬

田中 美和

△調査△

神戸は六甲の連山と海との間に挟まれた土地であるから、いつも山と海を意識する事ができる。この街には2本の私鉄と国鉄がそれぞれ平行して東西に走っている。これらの電車に乗る時、山側の座席に座るか海側の座席に座る

かで目の前に展開する風景が全く異なってくる。山側に座れば海を、海側なら山を見る事ができるからである。

又この3本のうちの電車に乗るかで、山や海の見え方も違ってくる。例えばそこに生えている木々の様子、生え方や一本一本の色の違い、形の違い等身近に伝わってくる。木々の輪郭でリズム付けされた山の稜線が走るにつれて遠くになったり、近くになったりするのを目で追うことができる。山が遠のいたり、急に近づいてきたりすると、山と自分との距離を感じ新鮮な驚きを与えられる。とにかく山は身近に感じられて、山膚の呼吸しているのが直に伝



‘87アートナウ会場の作品の前で

わってくるように思える。ところが浜の方を走る電車に乗ると、山は、ずっと遠くに退いて、手では触れられない様な少しよそよそしい感じになる。しかし稜線は長いストロークで見ることができ、山はあんなに大きく広がっていたのだという事を認識させてくれる。また山と自分との間の距離を思うと、その間に広がる空間の量に圧倒させられる。そして東西に長く伸びる稜線は緩やかに、またある時は複雑に空を切りとっていく。この様な見え方の違いは海を見る時でも起る。ただし山を見る時と、乗る電車の走っている場所が逆になるけれども。

私は神戸に住んでいて良かったと思うことの一つに、季節の変化を六甲の山々で感じ取れるということがある。通学、通勤といつも電車に乗っていたが、その時毎日山に接することができた。春、光りも明るくなって気分が浮き浮きとしてくる頃、今まで静かに眠っていたような山膚から、びっくりするような若葉

の色が目飛び込んでくる。

それからどんどん山にはエネルギーが満ちていって、初夏の頃にはその木々の色、葉の勢いに圧倒させられるようになる。充実した夏が過ぎると、透明な秋がやってくる。

この季節には本当に多くの色が見えてどきどきとする。やがて山は木の葉が落ちて、ひとまわり小さくなり柔かい灰色に包まれてくる。山の稜線には、葉の落ちた木々が連なっていて見え、それは山に優しい輪郭を与えている。私は部屋に居て画面を前にしてイメージを膨らませようとすると、このような山から与えられるいろいろな感覚が生きているのだと思う。

## 「綺麗」な絵

## 「美しい」絵

細川 勝

△社団法人 示現会 会員



私の作品は、一見写真で、緻密な描写による心象風景が多い。

「綺麗な絵ですね」と言われることが多々ある。

「美しい絵ですね」とはあまり言ってもらえない。誉められているのか、くさされているのか、どうも釈然としない。言ってる人の気持を詮索したくなる。

## 「綺麗」な絵と「美しい」

絵とは、味噌のコマージュではないが感覚的に一味ちがうと私は判断している。人の心に残る、訴える、詩のある「美しい」絵を描きたいとは考えるが「綺麗」な絵を描こうとする気持は微塵もない。

「綺麗」を参考までに角川の新国語辞典でひいて見ると、「綺麗」とは、一、美しいさま、二、清潔なさま、三、潔いさま、四、残りが無いさま、勘定を済ませるとあり、また、綺麗事名として、一、手ぎわよく仕上げる、二、体裁だけで実質のないこと、三、汚れないですむ仕事、云々とある。

どうも「綺麗」と言う言葉の持つ意味そのものも、活用も軽薄で深い感性のある用語

とは、とらえられない。

別な表現をするならば言葉に哲学がない。むしろ「美しい絵ですね」と言葉が返って来ることもある。そんな時は、おもわずその人の素晴らしい感性を垣間見たようで、その人が女性であれば一段と「綺麗」に、いや「美しく」感じるのである。

おそらく大方の人は、「綺麗」と「美しい」は同義語に解釈され、私が意識しているほど、神経質に用いられているとは考えられないので安易に受けとめてはいる。

しかし、その内の何人かでも、「綺麗」という言葉を私を感じるとる如く、意識して使われているとするならば、ショックである。

私の力量がたらないものと謙虚に受けとめなければならぬ。

それだけに、私は「綺麗」と思われる傾向の作品にふれるときには慎重に言葉を探すのである。

そうすることによって互のプライドを傷つけあわずに済むからである。

●れんさいエッセイ●ペンのうちそと●22

# 親バカ、ネコバカ

三枝 和子 作家 え・元永定正

実は、私、テレビを観るネコがいる、という話は、眉唾ものだと、長いあいだ思っていたのである。そりゃ、画面がちらちらすれば、動くもの的大好きなネコのことだから、きよろきよろぐらいはするだろうけれど、それは何も、テレビでなかったって、鼻先でハタキを振ってやるのと同じことだと考えていた。

それというのも、うちの歴代のネコたちは誰もテレビに関心を示さなかったからである。もちろん、飼主がテレビ嫌い、ということもある。加えて、環境が自然に恵まれているから、山野を駆けめぐり、野ネズミや野鳥を狩する面白さを知っているの、テレビがちらちらしたぐらいではウレシがない。時折、足を停めて、ちょいと眺めたりはするが、フン、と通り過ぎるネコが多かった。

ところが最近になって、この私の考えを訂正しなければならぬ事態があらわれて来た。うちの歴代のネコのなかでは、最も頭が良いアカネがテレビを観はじめたのである。(アカネの頭の良さについては、すでにあちこちで書き散らし、大方のヒンシュクを買っているのだけれど、それにもめげず、またもや書くのである。)

ちよっと話がそれるが、このアカネについては、

私が東京の仕事場へ出かける留守のあいだ手伝いに来てくれる妹が、私以上に溺愛していて、私と二人でアカネの頭の良さをホメちぎるものだから、とうとう末の妹が腹を立てたことがあった。

私たちは三人姉妹だが、私は子無し、二番目の妹は独身、末妹だけが子持ちである。この末妹の親バカについて、二人の子無しの姉たちが、ケナすものだから、彼女は常々ファンマンやるかたなかつた。それに二人とも教師歴があり、理論的に、末妹の過保護ぶりを弾劾するものだから、いつも立つ瀬がなかったのである。おまけに二人して、彼女の最愛の息子より、アカネの方が頭が良い、みたいな口ぶりなので、カッと来たらしい。

「あんたたちは、私のことを親バカ、親バカというけれど、それなら、あんたたちはネコバカよ。アカネは過保護ネコよ」

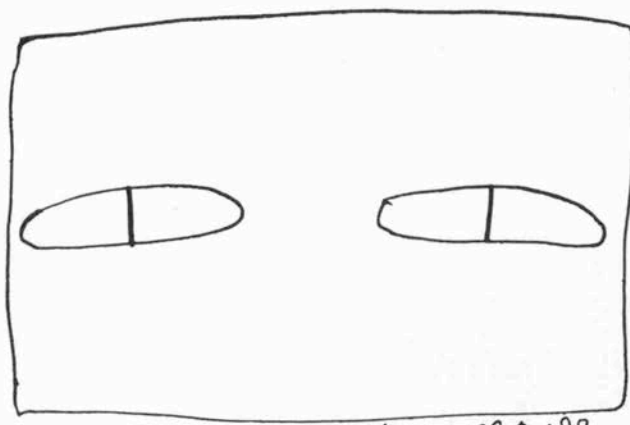
なるほど、もっとも。

しかし、二番目の妹は納得しなかった。人間は過保護にすると駄目になるが、ネコは構ってやれば構ってやるほど賢くなる。ホントかなあ。私は半信半疑だったが、この溺愛のせいで、アカネはますます人間ふうになっていった嫌いなきにもあらず。しかし、現在いる三匹のネコのなかで



は、狩の才能は抜群だから、人間ふうになった、  
といっても、野性が失われているわけではない。  
抱かれて膝の上にあがることなど決してしないネ  
コである。ただ、妹の弾くピアノの、モーツアル  
トでは気持ち良さそうに眠るけれども、ムソルグ  
スキーなどが響きはじめると、おい、と部屋を出  
て行く、くらいに人間ふうなのである。

このアカネが、いつの頃からか、NHKのタモ  
リのウオッチングに興味を示し始めた。最初のう  
ちは、時折、テレビの裏へ廻って覗いたりしてい  
たが、すぐに画面だけを愉しむようになった。一  
番好きなのは鳥で、このときはテレビの真下まで  
駆け寄り、首が痛くならないかと思うほど仰向い  
て、文字通り、息を呑むようにして観ている。そ



S. Moronaga '82

して、タモリさんには悪いけれど、彼や、出演の  
先生が写ると、すぐによそ見をする。「野生の王  
国」や、ムツゴロウ先生の番組も大好きである  
が、新聞のテレビ版を読む能力は、さすがに無い  
ので、私が見つけて呼んでやって一緒に愉しむの  
である。他の二匹は側で寝そべっていて、見向き  
もしないのに、である。

なかでも凄かったのは、先日のBBC制作「北  
極熊の王国」であった。NHK放映なので、コマ  
ーシャルはないし、その上、解説の人間も出なか  
ったので、丸四十五分、休みなしの興奮のしっぱ  
なし。シカは出るは、キツネは出るは、鳥も空を  
飛ぶだけでなく、彼女が大好きな地上をちょんち  
ょん進んで行く状態や、雛の巣立ちなどを映して  
くれるものだから、もうわくわくしているのが、  
側で見ているとよく分る。さらに北極ウサギが、後  
肢だけで独特の跳び方をするのには感動したらしく、  
テレビの画面に前肢をかけて眺め入っていた  
と思ったら、ネズミが出て来た。穴に出入りする  
様子を両眼を精いっぱい開いて、何故か、鼻の頭  
まで、赤くてらら光らして見えて、最後に、  
ネズミの顔が大写しになったとき、フウツ、と溜  
息みたいな呻り声をもらした。その気持の変化  
を、詳細に観察していたが、豊かな感受性であ  
る。

末妹には悪いけれど、パソコン漬けになって、  
表情から生き生きとした感情表現が失われてしま  
っている彼女の息子よりは、少なくとも感受性  
においてはアカネの方が上である。もっとも彼女の  
息子、というのは私の甥っ子だから、他人ごとで  
はないのだが……。

# 味のふるさと

文・岡部伊都子 絵・石阪春生

大阪のあくに沈んで、他の土地の空気を知らなかった者が、複数生活からこころがりでたついでに神戸へころろと「おむすびころりん」。母と二人の生活は、住吉柳の浜近く、姉の持家へ住まわせてもらって、始まったのでした。

何の素養も学歴も無い上、虚弱な体質。いったい、どうして生計をたてようか……と、不安でした。ただ、六甲山と、住吉の浜とをかけぬける風のさわやかな軽さ。誰も見つめない気の明るさ。

あの柳の家で、無名ライターの放送原稿が綴られ、それが『おむすびの味』となって、それからでもすでに三十一年も、仕事を続けさせてもらえました。神戸の土地柄のお蔭で、多くの神戸人に助けられたからです。思えばたくさんあります……、神戸では満十年間の住まいで、京へ移ってもう二十二年経ちますから、「今は昔」、話も味も、古典になってしまったかも知れませんね。

柳の家から「神戸への旅」をして、オリエンタルホテルや、国際ホテル、また、六甲山上のホテル（まだ一、二軒しかありませんでしたよ）に滞在して、おいしい料理を味わいました。大阪の味とは異なる欧風のセンス。とくに、いささか無骨に思われるほどのキングス・アームスの雰囲気気が

に入っていました。

いつか、関西汽船の取材で知り合った札幌の男性をジャーナリストと一緒にこの店へお連れしたら、大変。「こんな店が札幌にほしい」と、一旦帰られてから又、ゆっくり写真や料理のためにやってこられたそうです。

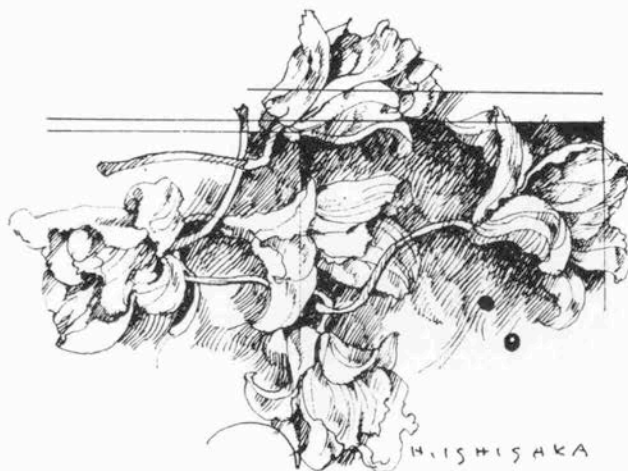
三年間うちで一緒に暮してくれた姪がブラジルへ発つ時、見送りの方々とはいったのもこの店でした。いつ行っても、あまりわざわざお人がいらっしやらないのが（お店には申しわけありませんが）わたくしにはありがたくて。

亡き足立巻一氏との最後のお別れも、このローストビーフでした。一九八五年一月九日、新宮晋氏の「呼吸する彫刻たち」展への小・中学校から集った感想文を審査しに兵庫県立近代美術館へ。久しぶりになつかしいお二方とお話をして、そのあと、神戸駅前・国際通りなど新宮作品を三人で見てもわりました。そしてキングス・アームス。自分の休息感をいいことに、お二方にも同じものを強いたのでしたが、「ここは初めて」の新宮氏も「これが正直なローストビーフという感じ」とおっしゃり、お店では足立氏ご来店をよろこばれて、たのしい夕食でした。「すっかりごちそうに

なって」と言われたガード下でのお別れが、そのままになってしまふなんて、残念でなりません。

青辰へ連れて行って下さったのは宮崎修二朗氏で、「こんなおいしいあなごずしが」と驚いたものでした。以来、人前をまかまわず、「おいしう」にばくばく食べる癖がつき（おのりがなかなか強いので）、椎茸のたき方や、卵の焼き方を先代から学びました。母が病臥すると、きれいな蓋物を持って行って、ちらしずしを入れてもらったこと、母がうれしがったことなど、忘れられません。ありがたいことに、現在でも神戸ではこの二店が心のふるさとなっています。

時代も、わたくし自身も、食べもの歩きがそう多くできないころでした。とくに自分で自分の口



に合うものを作ることに情熱をもつわたくしには、トアロード・デリカテッセンの自然の香りゆたかな数々の作品が神戸時代も現在も欠かせません。スモーク・サーサン、あわび、生ハム、とても書き切れない宝ものが、京風に姿をかえて客をたのしませ、自分は無難作にバクバク食べてニンマリしています。

いわゆる「味の旅」をしているゆとりがなく、じっと一時余も立って並ぶのがしんどいのですが、いつか須田勉太画伯から、「老祥記」の小ぶりの豚まんをいただいて、大ファンとなりました。あれなら一度に五個くらいは。「並んで買ったよ」とのご好意あったればこそ。そののち一度並んで持てるだけを求め、知人にあつあつをくばって歩いたのですが、京からは遠くて残念です。体力、氣力が弱る一方ですから。

第一楼や、糸平さん、蛸の壺、竹葉亭、正家そば、フロインドリーブや、ユーハイムもなつかしい。ドンクは京都にたくさんできましたので、賑かです。

神戸では牛肉が良く、お魚が新しく、洋風料理を客人にもてなしましたが、京では野菜、生麩、豆腐、湯葉などが主のお箸料理。さすが、加古川のあなごの香りはすばらしく、時折り、神戸の知人方が送ってくださると、しばらくあなごで暮します。古典だけれど、永遠に新しい口の福分。どうか神戸の香りをお大事に。さようなら。



△筆者紹介△

一九三三年大阪に生まれる。相愛高女を病氣中退。一九五三年以降、文筆生活にはいる。著書には「抄本おむすびの味」「美をもとめる心」「二十七度線」「賀茂川のはとりで」「優しき出逢い」など70余冊。



# 宝塚とシャンソン

中元清純

△宝塚歌劇団理事▽



今年、モンパリー生誕六十周年ということから、『宝塚とシャンソン』というテーマを与えられた。私は昭和二十七年に宝塚歌劇団に入団したが、そこで幸運にも演出家の高木史朗先生に出会い、最近亡くなられるまでの三十数年間ずっと先生の作品の音楽を作って参りました。その間、やはり故人となられた蘆原英了先生を知り、シャンソンにパレエに先生から教えられた事を、私の一生のよろこびと思っております。これからお話しする宝塚とシャンソンの事柄は、両先生から得た知識が中心になっている事をはじめに申し上げておきます。

レヴェュー「モンパリー」は、岸田辰弥が欧米帰朝第一作として昭和二年に初演した日本最初のレヴェューである。幕なし十六場はスピーディーな舞台転換のノンストップレヴェューでありました。又、フィナーレに大階段が使用され、ライندگانがあり、当時としては画期的な事でお客様は大いに驚き喜ばれたということです。レヴェューモン・パリーの主題歌は、ずばり「モン・パリー」と言うフランスの曲であります。リッシアン・ボワイエ作詞、ジャン・ボワイエとヴァンサン・スコット二人の共作で一九二五年、当時あったパラスというミ

ュージックホールで上演された「パリーののぞき穴」というレヴェューの主題歌として主役のジャニス・ビエルリが創唱したワンステップの大へん調子の良い曲であります。内容は昔のパリーをなつかしみ礼讃するもので——昔のパリーはメトロもなかったし、バスもなくパリーは大きな村のようであった。ああ、わたしの村は美しかった。わたしのパリー、われわれのパリー——と言う内容のものであったが、岸田辰弥自身の作詞で——「うるわしの想い出モン・パリー・わがパリー たそがれどきのそぞろ歩きや……etc」となった。そしてこの曲は素敵な唄、美しい唄ということになり、フランスの唄は何と甘く美しく調子のいいものと言うような事で、日本に初めてシャンソンが紹介されたと言っていると思う。あの悲しい戦争の後、昭和二十一年四月に宝塚大劇場再開、そして私は昭和二十七年六月公演グランドレヴェュー「シャンソン・ド・パリー」を観て歌劇団に入団しました。この作品は高木史朗先生のフランスより帰朝第一作のパリーみやげ公演で、題名どおりパリーのシャンソンが次々と紹介され、戦後のすさんだ空気の未だ残っている世間や若者達に夢と希望を与えてくれた素晴らしいレヴェューでありました。「ラ・メール」「ラ



▲昭和2年「モン・パリ」

◀昭和35年「華麗なる4拍子」唄/故明石照子  
(写真・宝塚歌劇団提供)

・セーヌ」「枯葉」等がこのレヴューで発表され、戦後再びシャンソンブームを巻き起すきっかけとなった。そして昭和三十五年「華麗なる千拍子」の上演となり高木先生の代表作とも言えるこのグランドショウは芸術祭文部大臣賞を受賞しました。この作品の制作にあたって、多くのシャンソンを蘆原英了先生からいただいた。東京は代々木初台の先生宅で朝から晩までシャンソンのレコードを聞いてその中から、「幸福を売る男」の曲を主題歌として選ぶ。この曲はシャンソンの友という九人の男声ボーカルグループによって唄われヨーロッパより大流行して行った曲で、このメンバーのジャン・ブルツォールが作詞、ジャン・ピエール・カルヴェが作曲、ラテン系チャチャチャのリズムに乗ったヒット曲で、幸福を売って歩く歌手の生活が唄われている。——悲しい時に 明るい歌を 涙のほほに 笑顔の歌を……高木先生の作詞で明石照子、寿美花代、中心に那智わたる、如月美和子、内重のぼる、植克己と次々に唄いつがれたこの歌は今でも耳に残っている。

さてこの編曲に際しては原曲のシャンソンの友のオリジナルを中心として、後半の盛り上げは、ジョセフィン・ペーカーの唄うアフロリズムの編曲を参考に又、ダンス場面ではフランク・プールセル演奏のレコードと変化をつけるのに工夫をこらした。蘆原先生は編曲の重要性を私に教えて下さった。このグランドショウのタイトル「華麗なる千拍子」はジャック・ブレル作詞作曲による La Valse a mille temps よりとられているのはあまり皆様方には知られていないと思います。この曲も蘆原先生より寿美花代にどうだろうと言



昭和35年「ウイ・ウイ・パリ」「夜霧のモンマルトル」唄／横弥生（写真・宝塚歌劇団提供）

どんな曲でも何でもこなす……

トスカニーニが聞けばたまげる

リストもラベルも俺らの友達なのさ

冷たい浮世の風も何くわぬげによ

朝から晩までただピアノをたたいている——

明石照子はこの歌を見事に芸達者に唄った。同じレオ・フエレ作曲になる「ジャズバンド」はジャズ礼讃歌である。これを寿美花代が飛んだりねたりしながら——お聞きよジャズバンド すてきじゃないかよ 心もはずんで若い血はもえるよ——と唄い出す。寿美花代はすっかりレオ・フエレのファンになり以後彼女のレパトリーには必ずレオ・フエレの曲が入っていた。NHKの紅白歌合戦に初めて出演した彼女はこのジャズバンドを唄いました。他にレオ・フエレの曲で有名なのは「パリ野郎」で今も宝塚の生徒達によって歌いつがれています。「夜霧のモンマルトル」は高木史朗作詞、そして私が作曲した歌ですが、これは宝塚のオリジナルシャンソンとして「華麗なる千拍子」の受賞公演が加えられ如月美和子が唄い好評でした。——モンマルトル モンマルトル 夜の街は 霧につつまれ 涙にかすむ ほのかなネオンも 夢見る様に メランコリックな街の響も——

この様に「華麗なる千拍子」の作品の中で多くのシャンソンが唄われて来ました。「シャンソン・ド・パリ」にはじまり、「ボンジュール・パリ」「ブーケ・ド・パリ」「シャンソン・ダムール」「ウイ・ウイ・パリ」と続き、「華麗なる千拍子」に至って頂点となった宝塚のシャンソンシリーズこそ、最も多くのシャンソンを日本国中に紹介したと言えるのではないのでしょうか。

われてとりあげた曲です。この曲は $\frac{3}{4}$ 拍子のワルツテンポの曲で早口で唄うため寿美花代と二人で昼食抜きで稽古をしたのを思い出します。——手を取り踊ろう、二人で踊ろう、ワルツにタンゴにチャチャチャにカリブソ 二人で踊ればみんなも踊るよ 二拍子・三拍子やがていつかは……世界中が笑えば千拍子のリズム——全く息もつかせぬ大変な唄だったが楽しい唄でした。又、このショウの中で明石照子扮する一人のパリジャンが出て唄う「三文ピアノリスト」この曲はレオ・フエレの作詞作曲で、原題は「貧乏人のピアノ」と言うのである。貧乏人のピアノとはアコーディオンのことで、アコーディオンは庶民の楽器であり、パリのシャンソンはアコーディオン伴奏が大きな特徴の一つになっている。

——俺はピアノリスト 三文ピアノリスト



# 手づくりケーキを創って ハワイへ行こう！

ポर्टアイランド／ゴーフル・ポルトビア88で

5月5日第1回アマチュア手づくり洋菓子作品展

ゴーフルでおなじみの神戸風月堂（本社元町三／下村光治社長）が、昨年ポर्टアイランド・ファッショントアウ内に建てた「ゴーフル・ポルトビア88」で、5月5日の子供の日に、第1回アマチュア手づくり洋菓子作品展を、3階のゴーフル劇場と4階のソレイユホールで午後1時から開催することになった。

この日は神戸風月堂の感謝デーのゴーフルデーにあたる。昭和2年からの和菓子づくりの伝統と、

洋菓子づくりのハイカラの精神で創りあげたゴーフルは、長年、日本茶にも紅茶にも合う神戸の名物として愛されてきている。このゴーフルを「5のフル」と考えて昭和55年5月5日を「ゴーフルデー」と名づけて顧客への感謝デーとしたもので、この第1回アマチュア手づくり洋菓子作品展も、顧客への感謝と、作品展を通じて洋菓子文化の創造性を深め、お菓子ファンを増やそうというもの。

日頃、お菓子の好きな神戸っ子として名高い神戸のアマチュアの方々に腕をふるっても、自慢の作品を出品して審査し、優秀作品には、メダル（ゴーフルを型どったもの）



第1回ゴーフルデー「アマチュア手づくり洋菓子作品展」が開かれる「ゴーフルポルトビア88」



特賞はハワイ旅行神戸風月堂のハワイ店

と、副賞にハワイ旅行が贈られるというスイトな企画。

お菓子づくりの上手な神戸っ子には嬉しい大ニュース。ふるって応募を！

■対象作品 洋菓子で4/5日常温で品質が変化しないもの（デコレーション部門／クッキー部門）のいずれかで30cm以下の大きさ。  
■応募方法 ハガキで応募。先着100名分の出品品

■応募ハガキ記入事項／住所・氏名・年齢・性別・電話・作品種類・作品名・経歴を書く  
■審査基準 洋菓子の材料を使い衛生的で食べられるもの。まず出来栄を中心／第一次デザイン・センス・第二次 食べて見ておいしいもの

■審査委員長 下村光治社長

■審査日時 5/5（10：00～12：00）

■賞品 社長賞・ハワイ旅行とメダル／ゴーフル賞・食事券他。参加賞、ゴーフル（3000円）88テレホンカード風呂敷

■お申込み 神戸風月堂本社／営業推進部

「第1回アマチュア手づくり洋菓子作品展係」〒650神戸市中央区元町通3丁目3-10 電話078-3715555